

なみえ のいま

第6号
令和3年3月

町内コミュニティ再生支援事業について



幾世橋地区による危険箇所確認の様子

【町内コミュニティ再生支援事業の三年目を振り返って】

この一年はコロナの影響で皆さん心配な日々をお過ごしのことと思います。また、コロナに限らず近年は台風被害などが増加しており、安心安全な暮らしや防災の意識は更に高まっているのではないのでしょうか。

幾世橋地区の区長と「集う場づくり」を模索する中、今年度浪江町のハザードマップが改定されたこともあり、交流しながら地域の安全を一緒に考える機会を提案し、『防災の集い』を開催しました。

幾世橋地区では、指定の緊急避難場所の周辺を皆さんでパトロールです。土砂崩れやいざという時の危険箇所がないかなど、自分たちの地域だからこそ分かる情報も共有し合います。

「こんなときはどうする？」など、ご近所同士顔を合わせ、声を出し合うことが、地域防災だけでなく、コミュニティづくりにとって大切なことだと感じました。

今年度は、コロナ禍においてもつながる場づくりが安全に行えるよう、開催方法を模索した一年でした。中止したものが多い中で、防災の集いをはじめ、お墓参り休憩所やクリーン作戦などの活動が、感染対策をとって実施されました。

困難にどう向き合うか、これからも皆さんと共に地域づくりを考え活動していきます。

つながる場づくり

防災をテーマに

浪江消防署、浪江町役場防災安全係・住宅係のご協力のもと、町内4か所※1で『防災の集い』を開催しました。



△10/17 幾世橋集合住宅

一斉清掃を行ったあと、集会所にて、心肺蘇生やAED、ハザードマップについての勉強時間です。今年度、洪水ハザードマップが改定されたこともあり、皆さん真剣に耳を傾け、質問も多くでした。

※1：表紙に掲載している「幾世橋地区」も含み4か所。

△10/17 請戸住宅団地

請戸住宅団地では、心肺蘇生とAED講習を学び、じっくりと試してみます。新しい団地での、いざという時の安全な場所や避難方法を話し合うことができました。



△11/7 幾世橋住宅団地

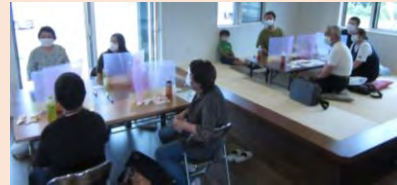
らいふく自治会の班長さんが中心となり、防災カードでゲームをしながら知識を深めました。

知識や備えだけではなく、顔を覚え合い、日頃から声をかけ合える関係が大事ですね。



新たな関係づくり

10月に入居開始となった請戸住宅団地。まずは定期的に交流会を開催し、ご近所同士、顔を覚え合います。新たな関係づくりのスタートです。



△9/12 入居前交流会

これから同じ団地で暮らしていく皆さん、初顔合わせです。「こんな暮らしがしたいな」「あら、久しぶりなこと！」など、声が飛び交いました。

△12/19 体操で交流

コロナと寒さで運動不足になりそうな冬。体操のワンポイント動画を見ながら体を動かしました。



請戸住宅団地ニュース

△1月発行『請戸住宅団地ニュース』
コロナ禍で継続的に集まることが難しい状況のため、団地内の人や様子を知り、団地の皆さん同士が声をかけ合うきっかけになるようにと、新聞を作成し配付しました。



PICK UP

地域の動きをご紹介します

▽地域のチームワークですっきり綺麗に



地域を支える人足活動

町内の人足活動の一端をご紹介します。
初めに幾世橋、北幾世橋北・南の3行政区による、恒例の初発神社、山津見神社、八幡神社の清掃作業です。皆さん手際がよく、あっという間に綺麗になりました。作業の合間に「こういう活動があるからみんなと会えるんだな」という声も聞こえてきました。
そして、権現堂の消毒作業です。蚊やコバエ対策として、毎年2回行われています。3日間で権現堂全行政区を網羅しますが、今年度はコロナ禍の影響で春は行われませんでした。結果、夏場の虫の発生が多く、住民からの依頼もあり、9月上旬猛暑日の中実施しました。
日常生活を送る上で必要な人足作業が、確実に復活しています。



▷ターゲットは、町内至る所に存在する側溝、小川、草むら

▽歳三と早乙女。衣裳のコントラストが素敵です



伝統芸能の継承に向けて

令和元年10月、八坂神社が再建され、翌1月には、約9年振りに神楽と田植え踊りが奉納されました。その後も定期的に集会所に集まり練習を重ねている、樋渡牛渡の芸能保存会の皆様。町外から参加される方が大半であり、活動の継続も決して容易な事ではないでしょう。この3月27日には、樋渡牛渡公民館（樋渡字内城45）で、田植え踊り体験会が開催されるとのことです。詳しくは、保存会長・鈴木様（☎090-7938-8995）にお問い合わせください。
復活し、活動し、将来の為に踊手の発掘まで独自に進めておられる、積極的な団体です。今年は是非、多くのお披露目の場があれば良いと思います。



△令和2年1月 再建された八坂神社で奉納

▽見えにくい草かげのごみも丁寧に拾っていきます



クリーン作戦&消火器訓練

コロナ禍で中止となった行政区のクリーン作戦も多い1年でしたが、西台行政区では対策を取りながら実施しました。
例年通り、3～4人ずつ5つのルートに分かれ消防屯所前から各グループが出発。てきぱきと熱心に、いつも使っている道路を綺麗にしていきます。
今回は、せっかく住民の皆さんが集まる機会だからとゴミ拾いだけではなく、消防署の方をお招きし「防火について」のお話を聴いたり消火器の正しい使い方を体験したりしました。いざという時の自治防災に向け、意識も高まりました。ちょっとした交流にもなり終わった後は地域も皆さんの気分もすっきりです。



▷参加者全員が体験しました

▽皆さんで色とりどりのパンジーとビオラをセンス良く定植しました



花で地域に彩りを

町内で町民の皆さんが定期的に行っている花植えです。
上ノ原行政区では、春秋2回、行政区内の至る所約20ヵ所にプランターを配置して花による明るい街づくりを実践しています。この秋は、プランター200、花の苗600を定植し配置しました。
また、苅宿行政区内での環境保全会の活動として、県道257号線沿いの花壇に約2400の花の苗を毎年植えて手入れされています。その景観は苅宿の名物となっています。
どちらの行政区の取り組みも、花で彩られた素敵な景色が見る者の心を癒しています。



△2,400の苗は遠くからでも見ごたえ満点です

9月 両竹 諏訪神社からの眺め

両竹、中浜では復興祈念公園の整備が進んでいます。
9月、両竹の諏訪神社では裏手の木をいくつか伐採していました。伐採後の景色は、震災遺構として公開予定の請戸小学校と青い海が見渡せるようになっています。



10月 天神社 修復へ

10月より、修復作業が始まった小野田行政区の天神社。春には修復が完了する予定だそうです。新たな社殿を拝見できる日が楽しみです。



10月 阿掛線が自由通行に

帰還困難区域の津島から葛尾村の村道につながる町道215号線（阿掛線）およそ3kmが、特別通過交通により自由通行に。
復旧・復興も加速するよう願います。



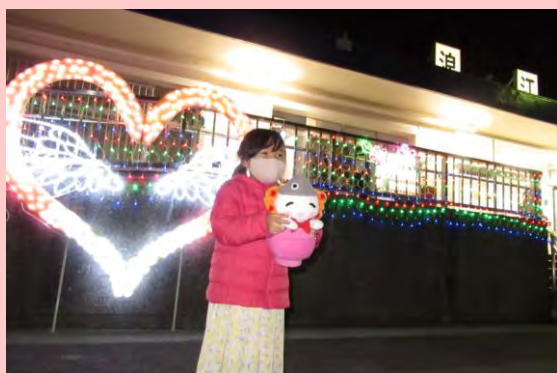
11月 拠点整備中の室原

農地や森林の除染など、特定復興再生拠点の整備が進む室原地区を区長の案内で視察。復興へ向け山積する課題を、あらためて現場で感じました。



12月 浪江駅でライトアップ

12月7日、浪江駅で行われたイルミネーション点灯式。色鮮やかな光が駅を包み込み、参加された皆さんは冬の風物詩を楽しめました。



1月 成人式 開催

1月9日、スポーツセンターで成人式が開催され、50名程の新成人が決意を新たにしました。皆さんのこれからの活躍とつながりが楽しみです。

